

「今」と「未来」のために、今私たちができること [目標6] 安全な水とトイレを世界中に

エス・ディー・ジーズ



6 安全な水とトイレ を世界中に



バーチャルウォーター

食料輸入国がその食料を
自国で生産するとしたら、
どの程度の水が必要かを
推定したもの



食料自給率が低い日本は、
多くの食料を輸入に頼っ
ています。つまり、私た
ちは世界の水を大量に
使って生活していること
になります。

「誰一人取り残さない」持続可能な社会の実現に向けた世界共通の目標「SDGs」。
「今」も「未来」も幸せに暮らし続けるために、今を生きる私たちは何ができるのか。
一人一人が「**自分のこと**、」として考え、身近なことから行動していくことが大切です。

きれいな水は、私たちの生活に欠かすことができません。世界では、地球温暖化などの影響により水不足が深刻化しており、汚れた水を飲み水にするなど、不衛生な生活環境に置かれている地域も少なくありません。不衛生な水やトイレは感染症の原因になっており、毎年多くの命が失われるなど大きな問題になっています。

日本では、蛇口をひねると安全な飲み水がすぐに出てきます。水道水をそのまま飲む日本は、とても恵まれた国といえますが、それが当たり前となってしまう、「限られた資源」という意識が低く、日常的な無駄遣いが問題となっています。

これからもきれいな水を安定的に確保するためには、一人一人が節水や水を汚さないように心掛けて行動することが大切です。

日常生活でできる取り組み

節水を心掛けよう！

- 蛇口をこまめに閉める
- シャワーの時間を減らす
- お風呂の残り湯を洗濯に使う
- 洗い物は汚れをふき取ってから洗う

市の取り組み

- 上下水道などの整備や維持管理
→水道水の安定供給や公衆衛生・生活環境の維持・向上、水質保全を図るため、計画的な上下水道などの整備や維持管理を実施
- 浄化槽設置費用の補助
→生活排水による水質汚濁を防止するため、合併処理浄化槽の設置に対して、設置費用の一部を補助